

第 3 学年「体育」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○体を動かすことが好きで、運動遊びに進んで取り組むことができる。
○ゲームや鬼遊びなど、ルールの工夫やルールを守る意識がついた。
- 課題** ▼安全に対する意識が低い。
▼勝敗を受け入れることが難しい児童がいる。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 児童自らが心身の健康や体力の向上を目指して運動に親しむ力
- ◇ 自己の能力に適した課題をもち、動きを身につけるための活動を工夫する力
- ◇ きまりを守って安全に運動を行い、運動に必要な用具を適切に使用する能力の育成

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 各種の運動の基本となる動きや技能を段階的に身に付けさせ、児童が自信をもち、運動する楽しさや喜びに触れさせる。
- 抵抗なく、主運動につなげられるように、主運動につながる準備運動を行う。

言語活動の工夫

- チーム戦やペア、グループ活動の中で教え合い、学び合いの機会をつくる。その際に、具体的な視点を提示することで交流を活性化させる。

ICT活用の工夫

- タブレット端末を使用し、動き方を確かめさせる。また、映像を児童同士で確認することで学び合いの機会を設ける。

課題解決力育成の工夫

- 学習カード等を活用して、授業毎のねらいを意識させる。児童自身の運動の課題を明確にし、運動する場や練習の仕方を工夫させる。

達成目標

- 日常的に運動に親しませることで、心身の健康の保持や体力向上への意識を高め、生涯にわたって健康的な生活を営もうとする態度を育成する。
- きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に留意したりすることができる。